

## 平成27年度春の巡検は4月4日(土) 水の道、鉄の道を探ねて…

平成27年第1回巡検は、「水の道、鉄の道を探ねて…」と題し、国木田独歩『武蔵野』や三浦朱門『武蔵野ものがたり』の舞台となった武蔵野台地中央部、武蔵境駅周辺を探ねます。

集合：JR中央線「武蔵境駅」通路側改札（nonowa口ではない方）

日時：平成27年4月4日(土) 10時

講師：紅露和夫氏（東京印書館）

コース：武蔵境駅→桜橋→玉川上水→独歩記念碑→独歩の森→境水衛所跡→小金井桜→千川上水→境浄水場→高橋家の大櫓→本村公園→杵築大社→武蔵境駅（天候によりルート変更の場合があります）

解散：15:00頃（予定）

参加費：500円（資料・レジャー保険他）

定員：20名（会員以外の方も参加できます）

保険加入のため参加ご希望の方は3月26日まで地図情報センターまでご連絡下さい。ホームページ（<http://chizujoho.jp.org>）からも参加申込ができますのでご利用下さい。開催1週間前を目途に参加要領（集合所地図等）をお送りします。

## 展覧会情報

地図地図古地図—江戸の古地図をたのしむ—

期間 12月2日～2月11日

【特別展】富士山—江戸・東京と練馬の富士—

期間 1月24日～3月15日

会場 石神井公園ふるさと文化館（両展覧会とも）

電話 03-3572-2572

第18回全国児童生徒地図優秀作品展

期間 1月10日～2月22日

会場 地図と測量の科学館ほか

電話 029-864-1872

紙で旅するニッポン～関東・甲信編～

期間 2014年9月13日～2015年3月1日

会場 紙の博物館

電話 03-3916-2320

## mini地図NEWS

### 世界で起きているサイバー攻撃のリアルタイム地図

アメリカのセキュリティ企業Norse社は、世界のどこからどこへサイバー攻撃が行われているのリアルタイムでわかるマップ（<http://map.ipviking.com>：図1）を公開している。「表示している攻撃は、Norse社のハニーポツ

トに対する最新のトラフィック流入の一部に基づいており、常習犯による世界のサイバー攻撃の実態を表している。いま、どの国が、どの国を、どの攻撃方法で標的にしているのか、ひと目でわかる」という。図2はKaspersky社のマップ（<http://cybermap.kaspersky.com>）。こちらのマップでは、世界中にいる6,000万ユーザーへの攻撃がリアルタイムで表示される。（WIRED.jp）

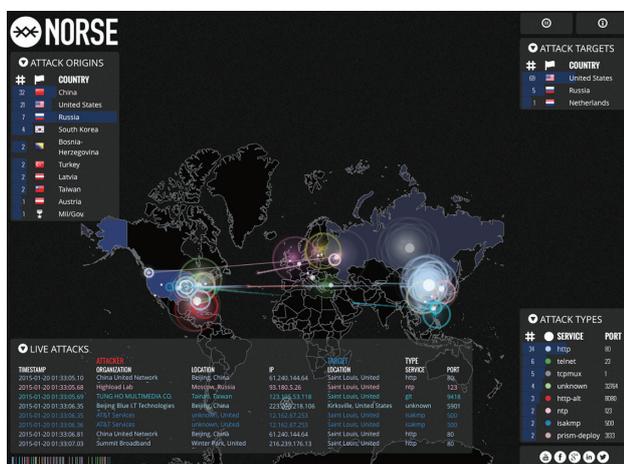


図1 NORSE社の地図



図2 KASPERSKY社の地図

# 地図絡み

## 第60回 巨大曲面上で暮らす我々

帝京大学理事 井口悦男

塩煎餅で知られた、東京足立区の北に接する隣県、埼玉の草加付近巡検に出掛けたとき、伊藤等さんに導かれて、地球儀製作所にも訪れた。白球の表面に、砂糖入り飴色生カキ餅片を思わす両極を頂点とし、両方の中間点にあたる赤道を一番幅広とする、経度にして20~30度幅の細長同様幅に分割された地球の海陸そして山地、高原など地形に都市を配した、同形印刷面を、その隣接面が分らないようピッチと貼りあわせてゆく手作業で、次々と白球表面が埋められ、またたく間に完成される。一見何でもないように見えるが、わずかなズレも許されない、一周してピタリ一致することを要する緻密さが求められる(図1)。

それとともに、この球体が、10面以上の両端がとがった形、言い換えれば幅なし、0で、中間の赤道で一番幅広な小片つなぎとされ、全体を一面で表現できないことによる。すなわち、円柱ならば一枚の長方形型紙で済まされることが直に判明する。球と円筒との違いであり、よく地図帖内各地図に使われることの多いメルカトル図法との差となる。この差と近さを理解しやすいと言えよう。

ところで、現実問題として、この地球を移動するとき、実感される地球表面は、あまりにも広大なため、知識としての球面としてより、極めて緩やかな曲面のためか、平面続きのなかに山や海も存在するものと見るほうが納得しやすい。現在、地球を平面とし、その果に、大滝があると信じている人は、いないと思うが、よほど広大な平面を見渡さない限り、地球を立体面としての片鱗に接すること困難である。日本のような狭長な列島上では、まわりがすべて平坦広大な海面となるので、遠方に立体視を感じることも、さらに六ヶ敷い。

シベリア鉄道の8千キロ以上を7日以上かけ、朝晩くり返えしても、地球を平面として移動し続ける事実を味わうばかりである。ただ、エアフロートで、

モスクワを夕刻飛び立ちシベリアから日本に向かうとき、夕闇せまるボルガ河(ヴォルガ川)の河面と間にはほぼ連続的に建設されたダム群の屈曲する姿、そこだけ鏡のように光ってうねるカスピ海へ達する帯から、高空に達してようやく伝わる立体面観をフト思う(図2)。そして、周囲一面に忍び寄った青黒い闇は、早や北極海方面の裾に茜色の帯が広がり、朝焼けがはじまりだす。西から東に向かうことも闇を短くする。朝に向かって、機内ではコーヒーの香りがただよいはじめる。

かつて、ソ連健在のとき、シベリア上空経由でなく。ヨーロッパへの北まわり路線は、アラスカのアンカレッジを中継地とし、そしてグリーンランド北東部をかすめる、通常地図上でしか接しられない場所を実見できる、地図好きには実にありがたいコースを取っていた。アンカレッジの帰国時休憩では、ヨーロッパ土産の現地買いものを、現地通貨で求められた。時期による人間の都合で、通過する地球面上の位置は、相違するが、平面と思える立体面の実態は、いずれも同様である。(15.1.23)

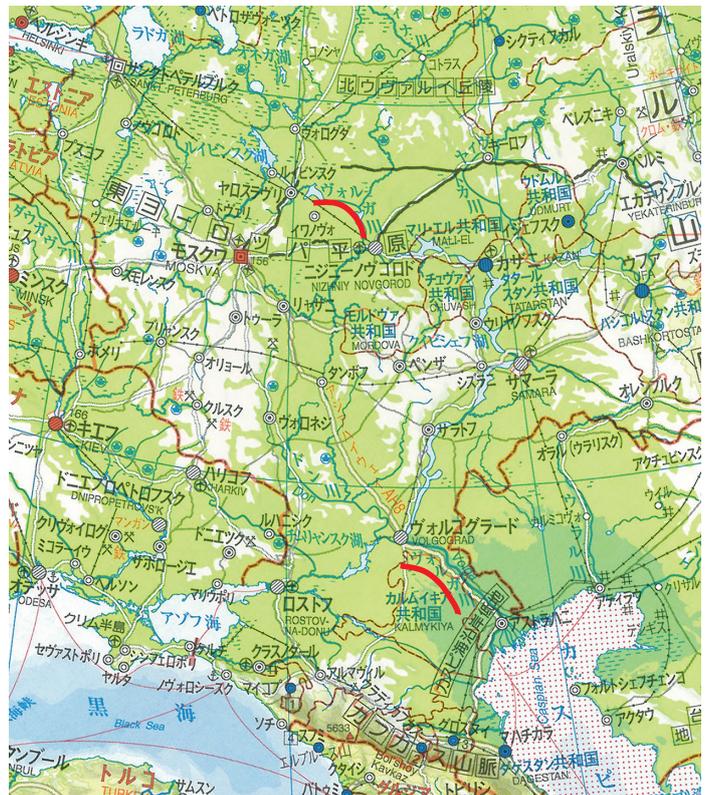
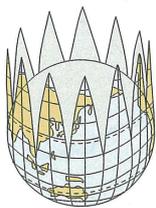


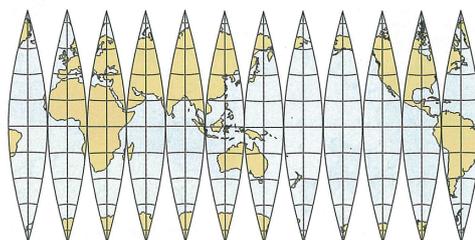
図2 新詳高等地図 帝国書院 p.53 ①ユーラシア北部を回航

**127**

### ①地球儀を切り開く



### 多面体投影図法



地球儀を切り開いてみよう。まるい地球を平らな地図にしようとするとき切れ目ができてしまう。そのため、切れ目のない地図にしたときには、面積・形・距離・方位を同時に正しく表現することはできない。そこで、目的に応じて面積や距離などをなるべく正しく表せる地図が、いろいろの方法でふうされている。

図1 新詳高等地図 帝国書院 p.127